

令和元年梅雨期災害の現況と対応策は

国の災害査定後、年度内完成を目指す



富重 幸博 議員

本年、6月末から7月上旬にかけての梅雨末期の災害の現状は、どのようなになっているか。

道路・河川・田畑など被災総額2億1千万円以上

町長

国営かんがい排水事業曾於南部地区においても用水施設管理用道路など5箇所が災害が発生し、各ファームポンドへの送水が遮断されている。

本町の災害では土木関係26箇所、農林耕地関係で98箇所、総額2億1100万円となっている。

年度内の災害復旧工事の見通しはどうか

富重議員

全体的な復旧工事について、年度内の進捗等、見通しはどうかになっているか。

年度内完成を予定している

建設課長・耕地課長

国による災害査定が済み次第発注し、年度内完成を目指す。

農林振興課長

治山工事1箇所については、県に査定依頼中で完成時期については、はつきりしていない。

野方地区隧道式水路の崩落災害の現況・課題は何か

富重議員

野方地区における素掘り隧道の災害実態と発生後の取り組み地元対策などについてどうなっているか。



崩落した隧道

隧道内部調査をしたが全容解明が難しく地元と調整中

町長

水之谷隧道は、総延長1700メートルで内部で大きな崩落が数箇所発生、無人小型車でカメラ確認を試みたが、途中の崩落箇所を車が通過できず全容をつかむのが困難である。

これらを踏まえ、地元水利組合の臨時総会において耕地課職員が出席し、経過説明など行いながら協議中である。

農業振興地域整備計画見直しの現況と今後の方策

富重議員

農業振興地域整備計画見直しに取り組んだ目的は何か。

地域活性化の観点から見直し

町長

農業振興地域整備計画は、前回の変更から約10年が経過し、県の方針変更や社会環境の変化などに伴い、計画変更の必要性が生じたことによる農業の総合的な振興と定住化促進や工業用地など、地域活性化をはかるため全体的に見直しを行った。

どのような条件を考慮し見直しを進めたか

富重議員

人口動態をはじめ、いろいろな指標を考慮しながら作業を進めてきたと思うが、どのような条件を考慮したか。

十年先を見つめ編入及び除外地区を選定した

町長

編入は圃場整備予定地区で、除外区域は原野化、林野化した区域、東九州自動車道や関連するインターチェンジの整備に伴う交流人口の増加などが見込まれる地区、宅地化・工業化の見込まれる地域である。

なお、ジャパンスリートレーニングセンター大隅周辺については、町道（飯隈一在郷線）以南を除外区域として県と協議予定である。

不法投棄やポイ捨てについて把握しているか

富重議員

資源ごみ収集リサイクル率について、12年連続日本一であるが、ごみの不法投棄やポイ捨てについてどのように把握しているか。

不法投棄箇所4件ポイ捨ても数箇所

町長

平成三十年中、大量の不法投棄箇所4件、ポイ捨てについては

数カ所あったが、連絡を受けた都度撤去している。

資源ごみ集合収集場所を設置すべきではないか

富重議員

大崎地区と野方地区で月2回程度時間を決めて集合収集を行う考えはないか。

また、割れたビンやガラス類については、役場及び野方支所で常時、回収して住民の利便性向上をはかる考えはないか。

衛生自治会と協議する

町長

衛生自治会が主体となっており、割れたビンやガラス類の取り扱いについても十分協議しながら判断していく。



道路側溝や排水路等への不法投棄